

# 江戸川区 第四次環境行動計画

(平成25年度～27年度)

平成26年度 結果報告

江戸川区環境行動計画事務局

平成27年10月

## 【 江戸川区環境行動計画 】

一事業者としての区が、地球温暖化防止や環境への配慮を自ら率先して行動するために、平成12年度に策定し、第一次（期間：平成12～16年度）、第二次（平成17～19年度）、第三次（平成20～24年度）を経て、現在は第四次計画（平成25～27年度）を推進しています。

第四次計画では電気・都市ガス・庁用車燃料・上水道の各使用量とコピー用紙購入量、廃棄物排出量に数値目標を前年度比1%削減と設定しています。

なお、第四次計画では第三次計画まで対象から除外していた区外施設等を含むため、平成24年度の実績値を第四次計画の範囲で集計し直したものより数値目標を設定しています。

### 1 各種使用量等の実績

各項目の使用量等の実績は以下のとおりです。

廃棄物排出量のみ数値目標である前年度比1%削減を達成できませんでした。

目標設定項目		25年度	26年度	前年度との差	増減率
項目 省エネルギー	電気使用量 千 kWh	74,063	73,104	959	1.3 %
	都市ガス使用量 千 m <sup>3</sup>	4,088	4,008	81	2.0 %
	庁用車燃料使用量 ガソリン換算-kL	301	267	34	11.3 %
項目 省資源	上水道水使用量 千 m <sup>3</sup>	1,498	1,450	48	3.2 %
	コピー用紙購入量 A4換算-千枚	92,867	90,365	2,502	2.7 %
	廃棄物排出量 トン	2,986	3,004	18	0.6 %

表示単位未満を四捨五入しているため、前年度との差・増減率は一致しないことがあります。

## 2 施設・天候などの前年度比較

各種使用量等は各年度における施設の増減や猛暑・厳冬などの天候の様子に大きく影響を受けるため、実績のみではなく、これらの要因を考慮して評価する必要があります。

### (1) 施設の増減等

#### 主な増加要因

あったかハウス、平井高齢者福祉拠点、中葛西八丁目地区まちづくり事務所などの施設の増加及び、広報課分室・給与事務センター、中里第二ビル2階等の借事務室の増加、中央育成室から鹿本育成室への規模拡大、施設改修により25年度に一部利用を中止していたタワーホール船堀が通年で開館されたことや、25年12月に施設規模の拡大・移転した障害者就労支援センターの通年利用等により、各種使用量が増加しています。

#### 主な減少要因

区立西葛西保育園の民営化、区立鹿本幼稚園の廃止、北小岩一丁目東部地区まちづくり事務所の統合等による施設の減少や小松川清掃事務所の縮小、総合文化センター小ホールの改修工事による休止(1~2月)、松江コミュニティ会館の空調・外壁工事等による休館(10月~1月)等により、各種使用量が減少しています。

### (2) 天候の様子

夏の平均気温は、平年と比較し5年連続で高かったが、25年度と比較して、7~9月は低くなっています。

冬季は12月に強い寒気の南下により平均気温が低く、4年連続の寒冬となっており、また、25年度と比較して、12~2月はより低くなっています。

一方で、降雪量は平年と比較し、少なくなっています。

なお、天候の様子については、気象庁のデータ及び報道発表資料を参考にしています。

### 3 温室効果ガス総排出量の実績

#### (1) 温室効果ガス総排出量の実績

温室効果ガス総排出量は以下のとおりです。

第四次計画では温室効果ガス総排出量に対する目標を設定していませんが、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）に基づき温室効果ガス総排出量を算定し、公表します。

なお、算定に当たって、固定係数（第一次策定時点）と本計画策定時点の最新係数を用いています。

[単位：トン-CO2]

CO <sub>2</sub> 排出係数	25年度	26年度	前年度との差	増減率
固定係数 (第一次策定時点)	37,973	37,474	499	1.3 %
最新係数 (第四次策定時点)	44,696	44,093	603	1.3 %

最新係数では平成22年度に発生した東日本大震災の影響を受け、特に電気の排出係数の値が大きくなっていることから、固定係数よりも温室効果ガス排出量が多くなっています。

次の項目以降の排出係数は取組の成果を明確にするため、固定係数を使用して評価しています。

なお、本報告書で使用している主な排出係数は以下のとおりです。

CO <sub>2</sub> 換算係数	電気	都市ガス	ガソリン
固定係数 (第一次策定時点)	0.384 [kg/kWh]	1.95 [kg/m <sup>3</sup> ]	2.36 [kg/L]
最新係数 (第四次策定時点)	0.463 [kg/kWh]	2.16 [kg/m <sup>3</sup> ]	2.32 [kg/L]

## ( 2 ) 温室効果ガス種別排出量

江戸川区の事業活動に伴って直接的・間接的に発生する温室効果ガスは「二酸化炭素( C O<sub>2</sub> )」、「メタン( C H<sub>4</sub> )」、「一酸化二窒素( N<sub>2</sub>O )」、「H F C 類」の4種類であり、種別排出割合で見るとC O<sub>2</sub>が最も多く、約99.9%を占めています。

「二酸化炭素」は電気の使用に伴って間接的、都市ガスやガソリン・軽油の消費(燃焼)により直接的に、また、「メタン」と「一酸化二窒素」は自動車の走行に伴って発生する温室効果ガスです。「H F C 類」はカーエアコンに使用されるフロン134aが該当し、カーエアコンの使用に伴って漏洩します。漏洩量はわずかですが、フロン134aは「二酸化炭素」の1,300倍の温室効果があるため、C H<sub>4</sub>やN<sub>2</sub>Oと比較して、二酸化炭素へ換算した温室効果ガス排出量は多くなっています。

[単位：トン-CO2]

種 別	25 年度	26 年度
C O <sub>2</sub>	37,933	37,435
C H <sub>4</sub>	8	7
N <sub>2</sub> O	11	11
H F C 類	21	21
計	37,973	37,474

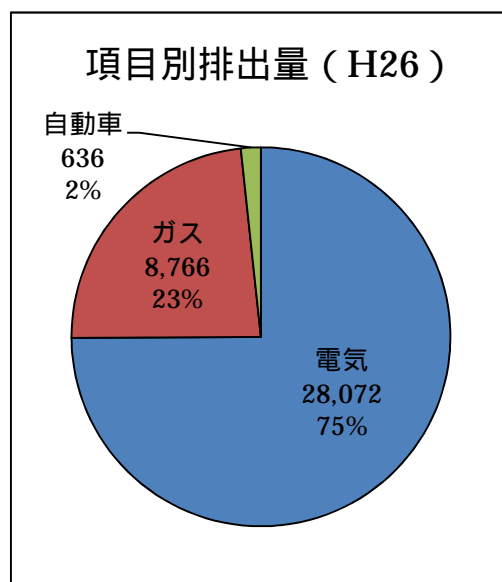
## ( 3 ) 温室効果ガス項目別排出量

温室効果ガスを「電気」、「ガス」(都市ガス・L Pガス・灯油)、「自動車」(庁用車燃料の使用量と走行量・カーエアコン)の各項目排出割合で見ると「電気」由来が最も多く、約75%を占めています。

排出割合の多い「電気」の使用量を減らしていくことで効率的に二酸化炭素排出量を削減できます。

[単位：トン-CO2]

項 目	25 年度	26 年度
電気	28,440	28,072
ガス	8,851	8,766
自動車	682	636
計	37,973	37,474



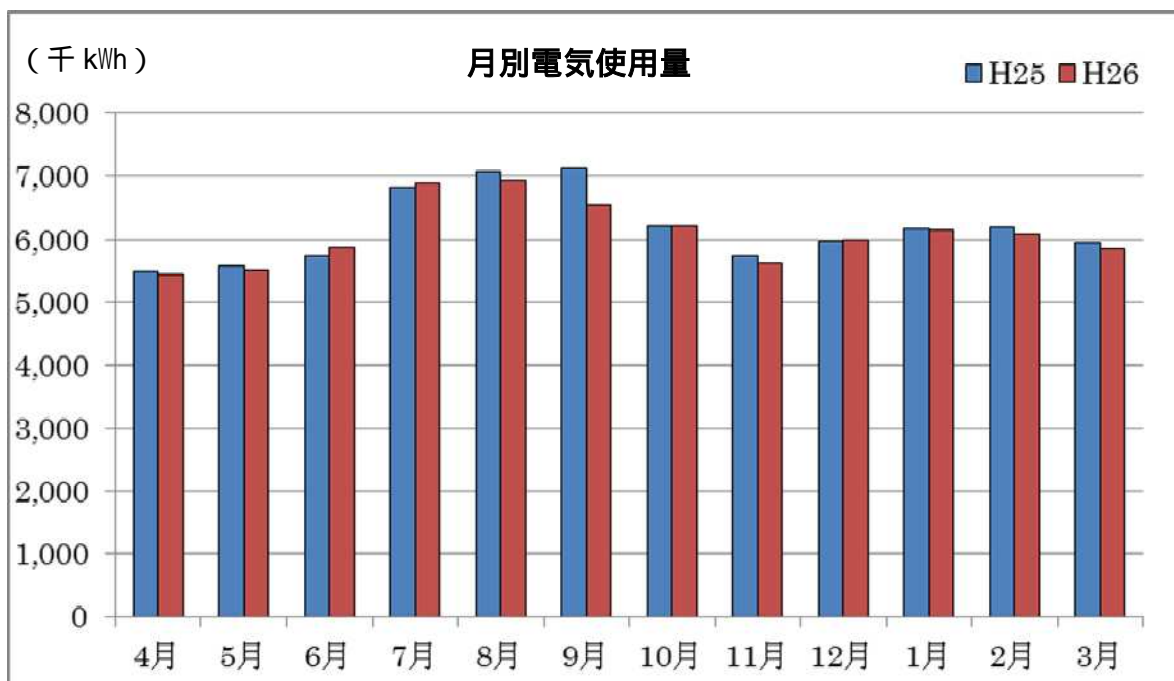
## 各項目の使用量等の詳細

### ( 1 ) 電気使用量

空調使用時である夏季に最も使用量が多く、天候の影響を大きく受ける項目です。  
 26年度は25年度と比較し、特に9月の平均気温が低かったため、電気使用量が減少しました。

[単位：千 kWh]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	5,476	5,563	5,745	6,832	7,082	7,126	6,215	5,737	5,968	6,171	6,210	5,937	74,063
H26	5,442	5,494	5,865	6,901	6,953	6,543	6,223	5,622	5,986	6,142	6,076	5,858	73,104
	前年度差												959
	増減率												1.3%



平成26年度の数値目標（前年度から1%削減）は「達成」できました。

## ( 2 ) 都市ガス使用量

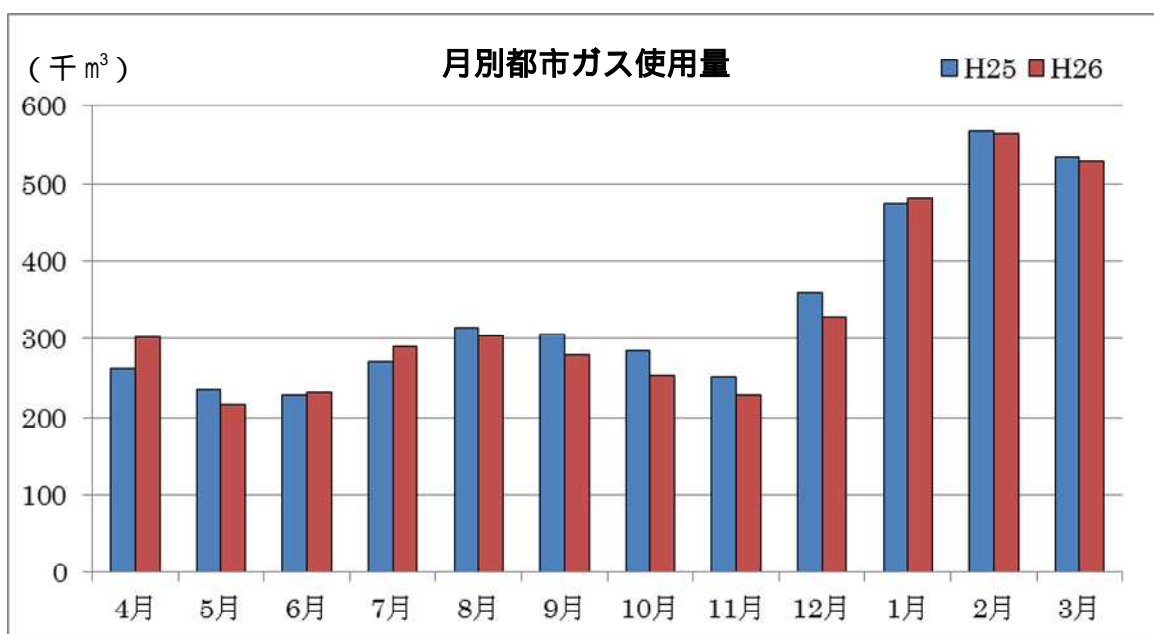
暖房使用の多い冬季に最も使用量が増えます。

26年度は25年度と比較し、冬の平均気温が低かったにも関わらず、使用量は横ばい、もしくは減少しています。

特に9～12月に大きく都市ガス使用量が減少しました。

[単位：千 $m^3$ ]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	263	235	228	271	313	306	285	252	359	473	568	535	4,088
H26	302	216	233	290	304	280	254	228	327	480	565	528	4,008
前年度差													81
増減率													2.0%



平成26年度の数値目標（前年度から1%削減）は「達成」できました。

### ( 3 ) 庁用車燃料使用量等

#### 庁用車登録台数

[単位：台]

	ガソリン (*)	軽油 (*)	L P G	天然ガス	総計
H25	193(8)	17(5)	14	7	231
H26	194(6)	19(5)	13	5	231

(\*)内ハイブリット車台数

#### 走行量

[単位：千 k m]

	ガソリン	軽油	L P G	天然ガス	総走行量
H25	1,242	127	218	69	1,657
H26	1,183	239	95	44	1,561

#### 車燃料使用量

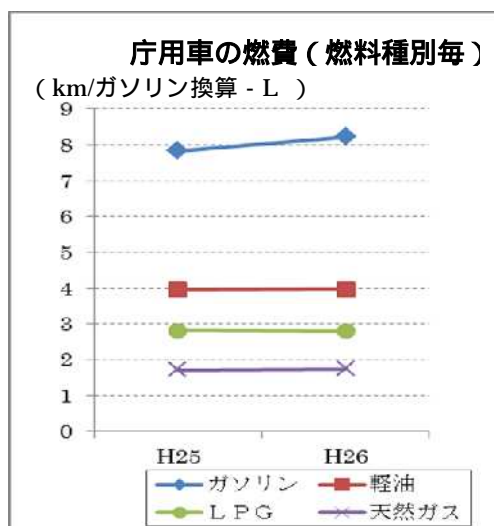
車燃料換算する際は、下記換算係数を用いてガソリンに換算しています。

ガソリン換算係数：軽油 = 1.09、L P G = 0.78、天然ガス = 1.29

	ガソリン [千 L]	軽油 [千 L]	L P G [千 L]	天然ガス [千 m <sup>3</sup> ]	車燃料計 [千 L-ガソリン換算]
H25	151.1	29.3	100.2	30.7	301
H26	142.6	60.9	43.0	18.9	267
				前年度差	34
				増減率	11.3%

平成 2 6 年度の数値目標（前年度から 1 % 削減）は「達成」できました。  
 なお、ガソリン車の燃費が向上しており、その結果、全体の燃費が向上しました。

[単位：k m/ガソリン換算-L]	H25	H26
ガソリン・軽油・L P G 車の合算の燃費	5.50	5.84



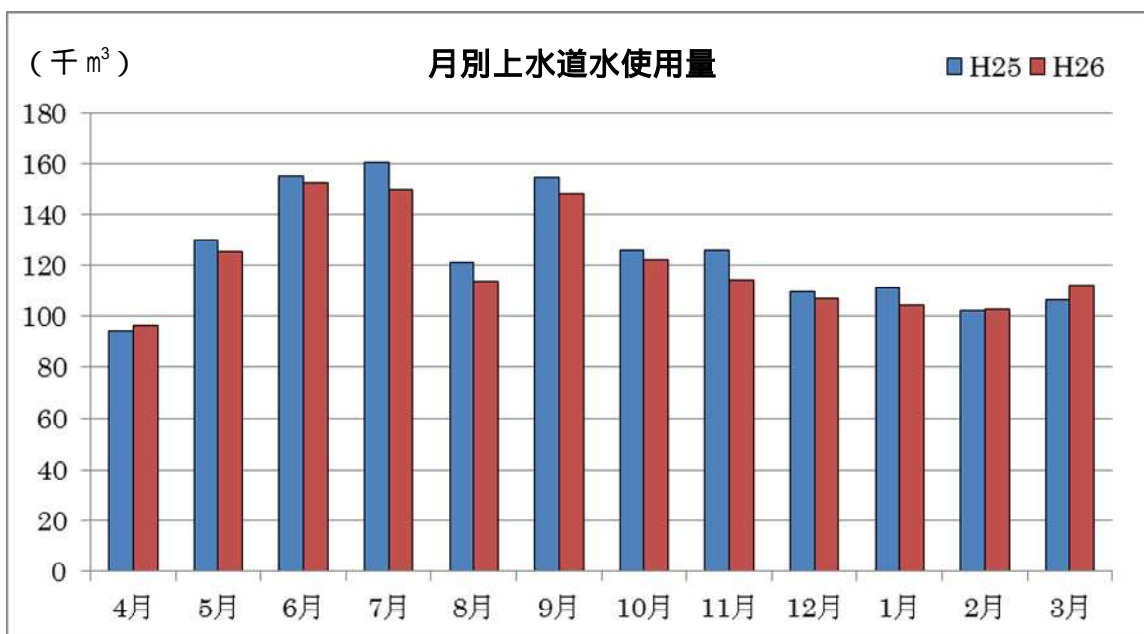


#### (4) 上水道水使用量

環境行動計画では水道に対し温室効果ガス排出係数を定めていませんが、「上水を作る時」「下水を処理するとき」に多くのエネルギーを消費します。上水道水使用量を削減することは、水資源の節約のみならず、間接的に温室効果ガスの削減になります。26年度はほぼ年間を通して、削減ができています。

[単位：千 $m^3$ ]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	94	130	155	161	121	155	126	126	110	111	102	107	1,498
H26	97	125	153	150	114	148	122	114	107	104	103	112	1,450
前年度差													48
増減率													3.2%



平成26年度の数値目標（前年度から1%削減）は「達成」できました。

## (5) コピー用紙購入量

第三次環境行動計画までは本庁舎のみで数値目標を設定していましたが、第四次環境行動計画では区の全施設を対象としています。

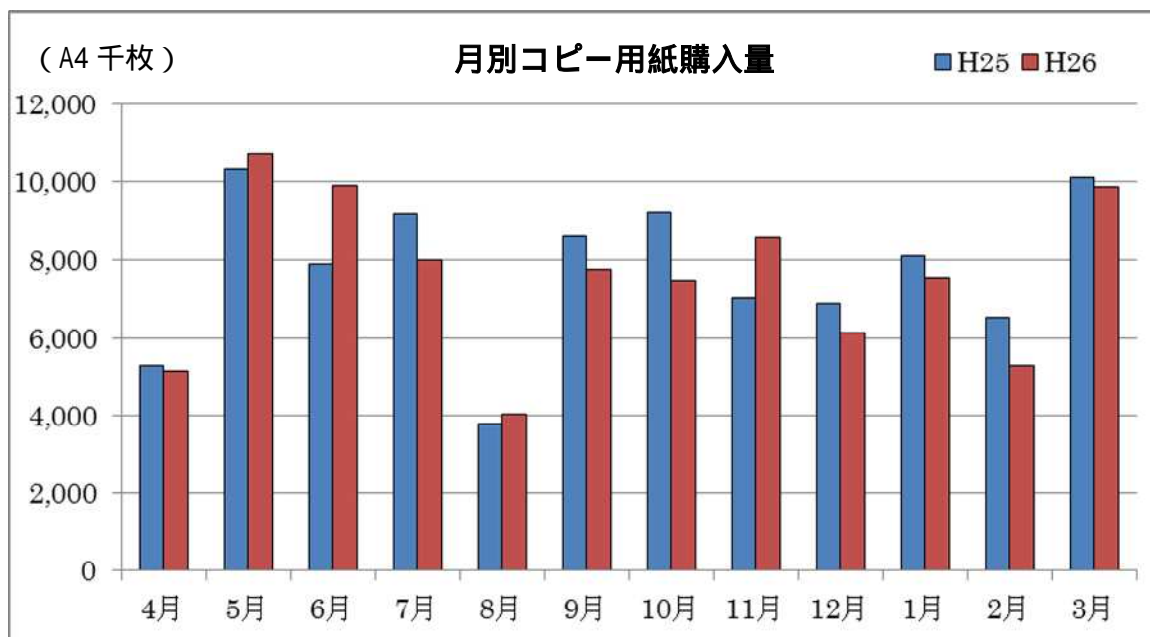
把握している紙の大きさはA3～B5までの4種類があるため、下記の換算係数を用いてA4に換算しています。

紙換算係数：A3 = 2.00、A4 = 1.00、B4 = 1.50、B5 = 0.75 [A4換算-枚]

コピー用紙購入量は、各実行最小単位の個別購入量と会計室を通じた集中購買量を合計した値を使用しています。

[単位：A4換算-千枚]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	5,274	10,318	7,895	9,169	3,790	8,615	9,220	7,020	6,848	8,086	6,521	10,111	92,867
H26	5,139	10,723	9,910	7,982	4,015	7,726	7,456	8,562	6,125	7,542	5,297	9,887	90,365
	前年度差												2,502
	増減率												2.7%



平成26年度の数値目標（前年度から1%削減）は「達成」できました。

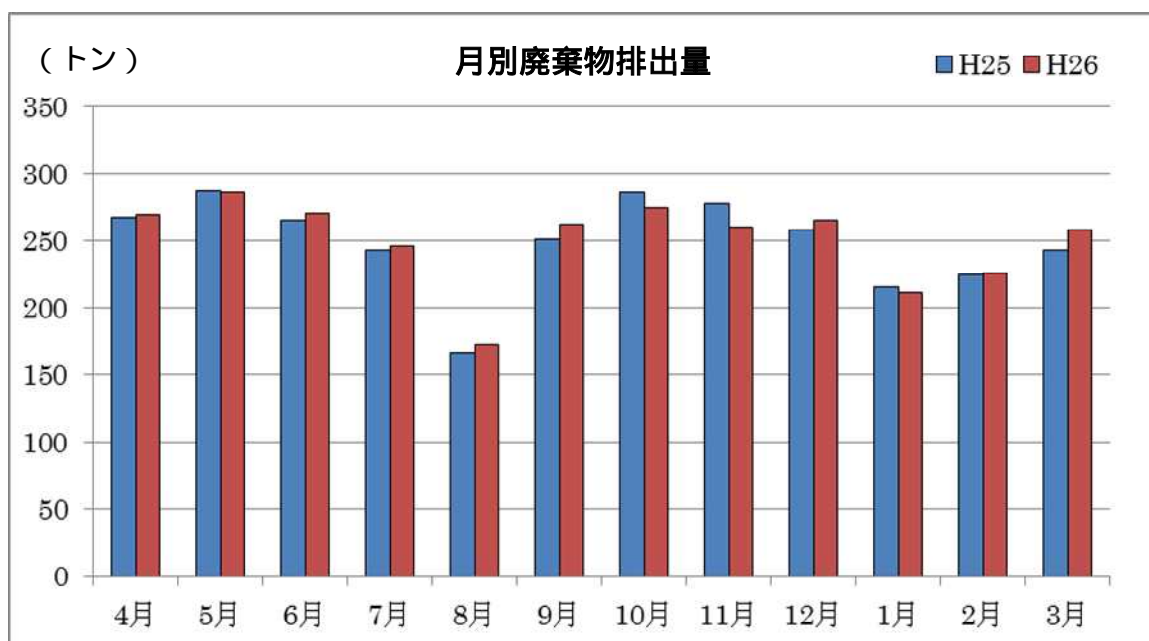
## ( 6 ) 廃棄物排出量

第三次環境行動計画までは本庁舎のみで数値目標を設定していましたが、第四次環境行動計画では区の全施設を対象としています。

26年度はほぼ年間を通して、横ばいとなっています。

[単位:トン]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	268	287	265	243	167	251	285	278	258	215	225	244	2,986
H26	270	286	271	246	172	262	275	261	265	212	226	258	3,004
前年度差												18	
増減率												0.6%	



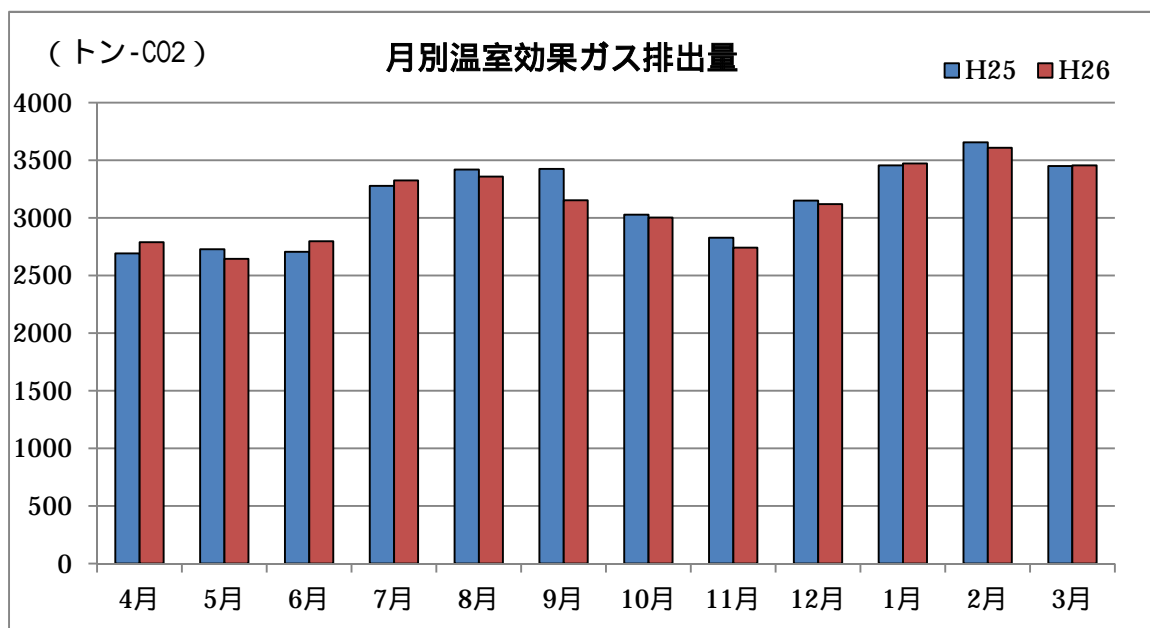
平成26年度の数値目標(前年度から1%削減)は「非達成」でした。

## ( 7 ) 温室効果ガス月別排出量

夏季と冬季に排出量が多いです。空調機器使用による電気・都市ガス等の使用量が多くなっていることが主な要因と考えられます。25年度と比較すると電気使用量が減少しているため、その影響を受け、温室効果ガス排出量が減少しています。

[単位：トン-CO2]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	2,705	2,742	2,719	3,293	3,432	3,437	3,042	2,841	3,163	3,469	3,666	3,463	37,973
H26	2,791	2,645	2,799	3,324	3,358	3,154	3,004	2,741	3,119	3,474	3,610	3,456	37,474
前年度差												499	
増減率												1.3%	



## 実行部門別の各種使用量等

各実行最小単位（課・建物）の数値を基に実行部門別に集計し前年度と比較しています。

### （１）電気使用量

25年度と比較し、夏の平均気温が低く、空調機器の使用が減ったため、多くの実行部門で使用量が減少しています。

[単位：kWh]

	25年度	26年度	前年度との差	増減率
経営企画部	-	-	-	-
危機管理室	3,760	3,886	126	3.4 %
総務部	1,865,387	1,823,444	41,943	2.2 %
都市開発部	3,572	5,064	1,492	41.8 %
環境部	407,185	315,911	91,274	22.4 %
文化共育部	19,480,454	19,424,402	56,052	0.3 %
生活振興部	6,931,902	6,890,539	41,361	0.6 %
福祉部	1,070,839	1,099,099	28,260	2.6 %
子ども家庭部	33,434	63,520	30,086	90.0 %
保育園	1,431,818	1,377,835	53,983	3.8 %
健康部	567,533	556,001	11,531	2.0 %
土木部	17,146,506	16,522,883	623,623	3.6 %
会計室	-	-	-	-
教育委員会事務局	41,503	42,987	1,484	3.6 %
小中学校・幼稚園	18,370,430	18,550,887	180,457	1.0 %
監査委員事務局	-	-	-	-
選挙管理委員会事務局	-	-	-	-
区議会事務局	-	-	-	-
えどがわ環境財団	6,298,222	6,025,496	272,726	4.3 %
社会福祉協議会	410,310	401,906	8,404	2.0 %
計	74,062,853	73,103,860	958,992	1.3 %

## ( 2 ) 都市ガス使用量

25年度と比較し、冬の平均気温が低かったため、一部の貸出施設での使用量の増加がみられますが、全体として削減が進んでいます。

[単位：m<sup>3</sup>]

	25年度	26年度	前年度との差	増減率
経営企画部	-	-	-	-
危機管理室	-	-	-	-
総務部	91,510	80,826	10,684	11.7 %
都市開発部	-	2	2	-
環境部	114,495	99,011	15,484	13.5 %
文化共育部	1,039,290	1,067,114	27,824	2.7 %
生活振興部	662,947	620,196	42,751	6.4 %
福祉部	70,225	67,617	2,608	3.7 %
子ども家庭部	1,378	5,658	4,280	310.6 %
保育園	132,352	129,050	3,302	2.5 %
健康部	20,819	20,902	83	0.4 %
土木部	26	33	7	26.9 %
会計室	-	-	-	-
教育委員会事務局	2,795	2,608	187	6.7 %
小中学校・幼稚園	1,922,690	1,880,733	41,957	2.2 %
監査委員事務局	-	-	-	-
選挙管理委員会事務局	-	-	-	-
区議会事務局	-	-	-	-
えどがわ環境財団	7,729	7,867	138	1.8 %
社会福祉協議会	21,986	26,001	4,015	18.3 %
計	4,088,242	4,007,618	80,624	2.0 %

### ( 3 ) 庁用車燃料使用量

軽油・LPG等の燃料もガソリンに換算して集計しています。  
特に使用量の多い実行部門で削減が進んでいます。

[単位：ガソリン換算-L]

	25年度	26年度	前年度との差	増減率
経営企画部	2,484	2,778	294	11.8 %
危機管理室	2,247	1,956	292	13.0 %
総務部	4,987	5,227	240	4.8 %
都市開発部	7,616	7,751	135	1.8 %
環境部	178,786	146,630	32,156	18.0 %
文化共育部	5,065	5,246	181	3.6 %
生活振興部	10,819	11,051	232	2.1 %
福祉部	13,443	14,898	1,455	10.8 %
子ども家庭部	1,016	997	20	1.9 %
保育園	-	-	-	-
健康部	8,018	8,005	13	0.2 %
土木部	39,821	36,741	3,079	7.7 %
会計室	-	-	-	-
教育委員会事務局	3,533	3,165	367	10.4 %
小中学校・幼稚園	-	-	-	-
監査委員事務局	-	-	-	-
選挙管理委員会事務局	-	-	-	-
区議会事務局	1,237	1,141	96	7.7 %
えどがわ環境財団	19,984	19,440	544	2.7 %
社会福祉協議会	2,081	2,099	17	0.8 %
計	301,136	267,125	34,011	11.3 %

#### ( 4 ) 上水道水使用量

節水の取組みはかなり定着しています。  
特に使用量の多い実行部門で削減が進んでいます。

[単位：m<sup>3</sup>]

	25年度	26年度	前年度との差	増減率
経営企画部	-	-	-	-
危機管理室	-	-	-	-
総務部	25,720	25,751	31	0.1 %
都市開発部	117	125	8	6.8 %
環境部	34,838	29,401	5,437	15.6 %
文化共育部	245,771	235,971	9,801	4.0 %
生活振興部	82,310	79,856	2,454	3.0 %
福祉部	26,283	27,889	1,607	6.1 %
子ども家庭部	2,517	3,627	1,110	44.1 %
保育園	77,379	74,421	2,958	3.8 %
健康部	4,444	4,327	117	2.6 %
土木部	28,025	28,082	58	0.2 %
会計室	-	-	-	-
教育委員会事務局	432	466	34	7.9 %
小中学校・幼稚園	806,158	792,560	13,598	1.7 %
監査委員事務局	-	-	-	-
選挙管理委員会事務局	-	-	-	-
区議会事務局	-	-	-	-
えどがわ環境財団	143,380	129,377	14,003	9.8 %
社会福祉協議会	20,366	18,183	2,183	10.7 %
計	1,497,738	1,450,035	47,703	3.2 %



## ( 5 ) コピー用紙購入量

A 4 以外の大きさのコピー用紙もすべて A 4 に換算して集計しています。

事務事業の内容や前年度からの在庫状況により大きく購入量が左右されるため、全体としては削減が進んでいますが、今後も継続して削減の推進が求められます。

[単位：A4 換算-枚]

	25 年度	26 年度	前年度との差	増減率
経営企画部	325,000	380,000	55,000	16.9 %
危機管理室	200,500	99,000	101,500	50.6 %
総務部	9,436,250	9,626,750	190,500	2.0 %
都市開発部	1,240,750	1,272,000	31,250	2.5 %
環境部	502,500	577,500	75,000	14.9 %
文化共育部	2,836,195	3,197,620	361,425	12.7 %
生活振興部	3,606,750	4,137,500	530,750	14.7 %
福祉部	6,192,125	6,166,325	25,800	0.4 %
子ども家庭部	1,039,250	1,219,125	179,875	17.3 %
保育園	1,361,550	1,513,500	151,950	11.2 %
健康部	2,485,150	2,434,000	51,150	2.1 %
土木部	2,002,500	2,266,000	263,500	13.2 %
会計室	142,250	107,500	34,750	24.4 %
教育委員会事務局	1,148,000	1,090,750	57,250	5.0 %
小中学校・幼稚園	59,168,434	55,112,588	4,055,846	6.9 %
監査委員事務局	30,000	28,000	2,000	6.7 %
選挙管理委員会事務局	12,000	22,500	10,500	87.5 %
区議会事務局	242,500	234,250	8,250	3.4 %
えどがわ環境財団	470,000	425,000	45,000	9.6 %
社会福祉協議会	424,875	455,000	30,125	7.1 %
計	92,866,579	90,364,908	2,501,672	2.7 %

## ( 6 ) 廃棄物排出量

事務事業の内容や、倉庫整理により排出量が左右されます。

排出規模の多い実行部門での増減が全体での結果に大きく影響しています。

[単位：kg]

	25 年度	26 年度	前年度との差	増減率
経営企画部	-	-	-	-
危機管理室	-	-	-	-
総務部	77,420	77,550	130	0.2 %
都市開発部	1,535	1,320	215	14.0 %
環境部	32,332	27,003	5,330	16.5 %
文化共育部	512,355	541,369	29,014	5.7 %
生活振興部	157,036	153,576	3,460	2.2 %
福祉部	104,711	100,271	4,440	4.2 %
子ども家庭部	2,915	5,400	2,485	85.3 %
保育園	206,260	212,258	5,998	2.9 %
健康部	28,300	30,385	2,085	7.4 %
土木部	9,191	5,380	3,811	41.5 %
会計室	-	-	-	-
教育委員会事務局	4,310	4,480	170	3.9 %
小中学校・幼稚園	1,774,742	1,777,051	2,309	0.1 %
監査委員事務局	-	-	-	-
選挙管理委員会事務局	-	-	-	-
区議会事務局	-	-	-	-
えどがわ環境財団	60,549	54,257	6,292	10.4 %
社会福祉協議会	13,964	13,253	711	5.1 %
計	2,985,621	3,003,551	17,934	0.6 %